

ご使用前に必ずお読みください

※取扱説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。
※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。

接続機器名/ **BTR110**
パスキー/ **0000** (ゼロを4つ)

BTR 110
Bluetooth AUXレシーバー

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書と接続するBluetooth接続機器の取扱説明書をお読みください。

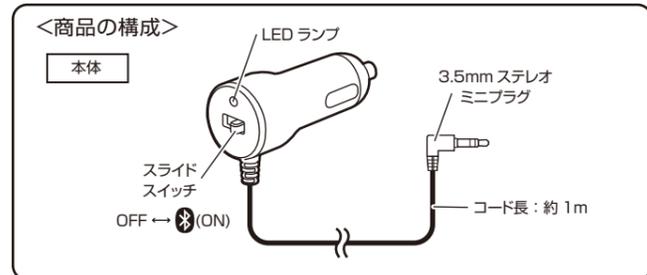
取扱説明書

保証書付き

はじめに

本製品はBluetooth対応の携帯電話/スマートフォン/タブレット/音楽プレーヤーなどと接続してお使いいただけますが、本書の中ではこれらのBluetooth対応機器を状況に応じて、通話機能を有する機器を「携帯電話」、もしくは機器を総じて「接続機器」と表記しております。

本製品の構成と名称、部品のはたらき



本製品をご使用する前に行っていただく準備

本製品をお使いになるまでの手順は以下のような流れになります。

【ご使用・取り付けの前に】

○必ず車を安全な場所に停車してから、機器の接続を行ってください。

- 1. 開封と確認**
■商品内容の確認をお願いします
- 2. エンジンをかけてから本機を接続**
■本機を電源につなぐ前にエンジンをかけてください
- 3. 本機と車のオーディオをつなぐ**
■本機のステレオミニプラグをAUX端子に接続します
- 4. 本機とBluetooth対応機器をつなぐ**
■本機のBluetooth機能と対応機器を登録し接続します

1. 内容物の確認をしてください

■開封後、上記の図を参考に内容物の確認をお願いします。

※万が一、初期不具合や欠落した部品がある場合は、ご購入いただいた店舗または表面右側記載のお客様サポートセンターまでお問い合わせください。

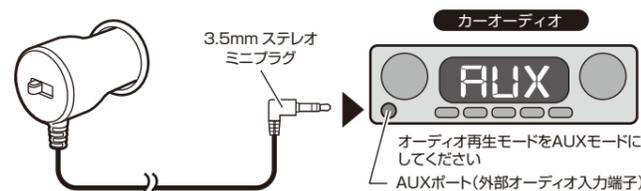
2. お車のエンジンをかけてから、本製品の電源プラグ部を接続します

- エンジンOFFの状態でお車のアクセサリソケット内のゴミ、ホコリ等をよく取り除いてください。汚れたまま電源プラグ部を押し込むと接触不良の原因になります。
 - 本製品ならびに接続機器内部の電子回路に影響を及ぼす可能性があるため、本製品を押し込む前にあらかじめお車のエンジンをかけてください。
 - 本製品の電源プラグ部分をお車のアクセサリソケットに押し込んでください。振動等で抜け落ちることのないよう奥までしっかり押し込んでください。
- ※脱着する際には、必ず電源プラグ部の根元をしっかりと持ってアクセサリソケットに対し必ず水平にゆっくり抜いてください。回転させたり、斜めにして、無理に抜くと破損の原因になります。



3. 本機の3.5mmステレオミニプラグを車のカーオーディオにつなぎます

- ①車のカーオーディオの電源をONにしてください。適度な音量に調整してから、カーオーディオを「AUX入力(外部入力)モード」にしてください。
- ※「AUX入力(外部入力)モード」への仕方はカーオーディオの取扱説明書をご覧ください。
- ②カーオーディオのAUX入力端子に本機の3.5mmステレオミニプラグを挿入してください。
- ※カーオーディオの外部入力端子がコンボジットRCA端子やφ2.5mmステレオミニプラグ仕様の場合は、変換アダプターが必要となります。別途お買い求めください。



4. 本製品とBluetooth機能付き接続機器(携帯電話機など)をつなぎます

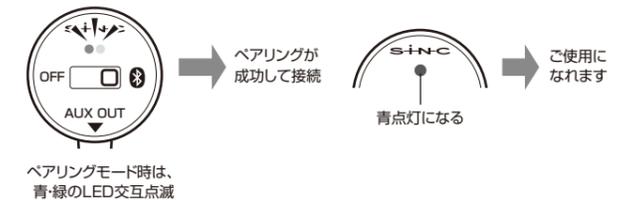
本製品をはじめてご使用になる場合、接続する携帯電話機とペアリングしてください。

【ペアリング(機器登録)～Bluetooth接続まで】

- ①本製品と接続機器の間に障害がないようなるべく近づけてください。
- ※接続機器に本製品以外の他のBluetooth機器が接続されている場合、一旦その機器との接続を切るか、その機器の電源を切ってください。
- ②本製品をペアリングモードにしてください。
- ※本製品のスイッチをONに(右側にスライド)します。本機に通電が行われるとメインパネルのLEDが青く点滅し、まもなく本機メインパネルのLEDが青と緑の交互点滅となり、ペアリングモードを開始します。
- ③接続機器をBluetooth探索(サーチ)モードにして、本機の機種名をリストアップする。
- ※接続機器の[設定]画面から[Bluetooth設定]を開き、[Bluetooth機能]をONにして機器の[探索(サーチ)]を選択してください。
- ※接続機器の機種により用語や手順が異なりますので、接続機器の取扱説明書(マニュアル)も予めご確認ください。
- ※通常、数秒から数十秒で探索の結果が表示されます。機種や周りの電波状況によっては時間がかかる場合があります。本機の製品番号「BTR110」がリストに表示されたら、タップなどの操作で選択してください。
- ※選択後、パスキー(Bluetooth認証PINコード)を要求された場合、「0000(ゼロを4つ)」を入力します。
- ④数秒待つとペアリング(機器登録)が完了し、接続機器への機器登録が成功します。
- ※ペアリングがうまくいかない場合は、本機の電源を入れ直す、接続機器側のBluetooth機能を一度OFFにする、接続機器の電源を入れ直す等をしてから再度お試しください。



発売元
株式会社 **セイワ** 〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地
セイワホームページのご案内(右のQRコードでもOK)
適合情報、ペアリング手順、新製品情報などが掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひご覧ください。
https://www.seiwa-c.co.jp
お客様サポートセンター(裏面記載のトラブルシューティングで解決できないとき)
お客様サポートセンター… ☎ 0570(039)710
受付時間/AM10:00～PM5:30(土曜・日曜・祝日除く)
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1



- ⑤接続完了後、音楽・音声データの再生をお楽しみ頂けます。
- ※音量は接続機器側の音量設定とカーオーディオ側の音量設定で最適なバランスになるように調整してください。
- ※本機は通話(ハンズフリー通話)には非対応です。本機の使用中に携帯電話機に着信が合った場合、着信音は携帯電話機本体からのみ鳴ります。また応答や通話は携帯電話機本体から行ってください。その際は、必ず車を安全な場所に停車してから行ってください。
- ⑥ペアリング(機器登録)後は自動接続されます。もし自動で接続されない場合、接続機器のリストに表示された「BTR110」を選択し、接続状況を確認して接続機器側で接続を完了してください。
- ※接続機器側で本機のペアリング登録を削除していなければ、本機の電源を入れ直す度に自動接続を試行します。
- ※接続機器の機種や設定、仕様によっては、自動で再接続しない場合がありますので、その場合は手動で再度接続を行ってください。

無料修理規定

- 取扱説明書に従った正常なる使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い求めの販売店、または弊社にて無料で交換または修理いたします。
- 保証期間内でも、次の場合は有料交換・修理になります。
 - お買い求め後の輸送、移動時の取扱いが不適切なために生じた故障・損傷
 - 誤用・乱用および取扱い不注意による故障・損傷
 - 不当な修理または改造による故障・損傷
 - 火災、地震、水害その他の天災地変および異常電圧・指定外の電源使用による故障・損傷
 - 保証書のご提示がない場合(レシート添付の場合は除く)、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 「日本国内にて販売されている、日本国内の携帯電話事業者用携帯電話」以外の携帯電話を使用した場合の故障・損傷
 - 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の、故障・損傷
- 保証期間はご購入日から6ヶ月とします。
- 本製品の保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本製品の保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 本製品の保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※この裏面に保証書が印刷されています。

5. その他(通信範囲から逸脱した後の接続状況)

- 接続中の接続機器が本機の通信範囲(約10m)から離れた場合、接続(リンク)が切断します。通信範囲(約10m以内)に戻れば、自動で再接続を試行します。
- 10m以内に戻っても自動接続しない場合は、接続機器側のBluetooth接続機器リストから「BTR110」を選択して再接続を試みます。
- 接続機器側でBluetoothをオフにした後、再度Bluetoothをオンにした時は、自動で再接続するか、接続機器側のBluetooth接続機器リストから「BTR110」を選択して再接続を試みてください。

製品仕様

1. 主な仕様諸元

項目	仕様	項目	仕様
Bluetooth仕様	Version 5.1	製品寸法・重量	H69×W28×D28mm
Bluetooth対応プロファイル	A2DP、AVRCP	(本体・ケーブルのみ)	約26g
Bluetooth無線周波数	2.4 GHz スペクトラム	接続機器表示名	BTR110
使用可能距離	見通し10 m	バスキーコード	0000 (ゼロを4つ)
消費電力	0.62W	電源プラグ	DC12V/24V車
変調周波数特性	20~20000Hz	ケーブル長	約1m(本体~3.5mmプラグ)
S/N比	60dB		

2. 主要操作一覧

<主な操作、LEDのはたらき> ※本機は操作に伴う電子音は鳴りません。

機能、状態	操作もしくは操作の結果	LED表示
電源 ON	スイッチを右側にスライド	青3回連続点滅
ペアリングモード (接続している端末がない状態)	電源ON後	青/緑交互点滅
ペアリング完了	ペアリング(機種登録)が成功	常時青点灯
接続	登録機種と接続した時	常時青点灯
接続解除	接続切断(通信圏外)時	青/緑交互点滅
	接続機器側のBluetooth機能オフの時	青/緑交互点滅
電話着信時・通話時	3.5mmステレオミニプラグからの出力が止まります。	常時青点灯

※上記は代表的な内容ですので、ご使用に差し支えない範囲で予告なく変更される場合があります。
※上記の操作、動作、LEDの点灯は全ての接続機器に反映されるわけではありません。一部の機種では内容が変わる場合があります。

取り扱い上の注意

- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。
- 警告・注意に従われない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

右の絵表示の区分は、お守りいただく
⊘してはいけない禁止事項を示します。
⚠必ず実行していただく指示となります。

警告 ここに記載された事項を無視してお使いになると、使用者が死亡または障害を負ったり、物的損害を被る危険性があります。

⊘ ●車を運転中での本製品並びに接続機器の操作は絶対にお止めください。
運転者による接続機器の操作は事故などの原因となります。また、本製品の操作、取り扱い、電源プラグ部の抜き差しも運転操作の妨げになりますのでやめてください。
本製品のいかなる操作も、お車を安全な場所に駐車してからおこなってください。

⊘ ●本製品を濡らさないでください。また、濡れた手でさわらないでください。
水分にさらされた内部に水が侵入したままご使用になると、故障や火災、発熱、感電、けがなどの原因となります。また、本体、特に金属端子が濡れた場合は、乾いた布で水を拭き取り、よく乾燥させてからご使用ください。

⊘ ●ご使用される前に、本製品がお車のアクセサリソケットに奥まで確実に挿し込まれているかご確認ください。
走行中の振動により本製品が外れることがあります。接触不良の状態で使用した場合、お車のヒューズ、アクセサリソケット破損の原因となります。※一部の車種では、アクセサリソケットが浅く接触不良を起こす場合があります。

⊘ ●分解、改造、後加工、乱暴な扱いをしないでください。
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。
また、ケーブルをきつく結ぶなどの行為は故障、事故の原因になるので、絶対にやめてください。

⊘ ●小さなお子様(乳幼児)やペットなどに与えたり、接触できる場所に放置しないでください。
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。

⊘ ●電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従って電源をお切りください。

⚠ ●本製品と同じ2.4GHz帯を使用した機器のまわりでは使用しないでください。
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、各種無線局が運用されています。本製品を使用する前に、近くでこれらの機器の使用及び各種無線局が運用されていないことを確認してください。

注意 ここに記載された事項を無視してお使いになると、けがをしたり、物的損害を被る危険性があります。

⊘ ●お車のエアバッグ拡張範囲に本製品を放置、保管しないでください。
エアバッグ作動時に影響が出たり、事故、けがの原因になります。

⊘ ●本製品の使用温度は0~40℃、保管温度は-20~60℃です。それ以外の環境でのご使用、保管はお止めください。
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

⊘ ●クリーニングするときにアルコールや研磨剤入りの洗剤は使用しないでください。
傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。汚れが付着した場合は、乾いた布でお拭きください。

⊘ ●プラグを抜く際は、必ず水平にゆっくりと引き抜いてください。
回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。

⊘ ●LED光源を直視しないでください。
目の健康を損ねるおそれがあります。

⊘ ●走行中は、接続中の接続機器が落下しないようしっかりと固定または収納してください。
事故の原因になります。

困った時は・・・

- 故障かな?と思ったらときは、お問い合わせいただく前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

以下のような症状で使用できない場合の対処法

- 接続機器で検索(サーチ)しても本機の機種名「BTR110」が表示されない
- ペアリングは完了したが接続できていない
- ペアリング済みの接続機器が再接続(自動再接続)できない

このような症状が続く場合は、電波障害や一時的なフリーズが原因だと考えられます。対処方法として下記の操作をお試しください。
①接続機器の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
②本機の電源をオフにして、再度電源をオンにする。
上記の方法でほとんどの症状が解消されますが、解消しない場合は、接続機器のBluetooth登録機器リストから本機の機種名「BTR110」を削除し、再度ペアリングしてください。
それでも解消しない場合は、接続機器のリセット(ネットワーク設定の初期化)をお試しください。

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	電源プラグが正しく挿し込まれているかご確認ください。 本体が緩みなく接続されているかとケーブルの断線、車のヒューズが切れていないかご確認ください。 エンジンが正常に掛かり、アクセサリソケットに電気が流れているかも確認してください。
ペアリングモードにならない	スライドスイッチをゆっくりOFFからONにしてください。
ペアリングができない	携帯電話が不適合機種である可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認ください。可能であれば他の携帯電話(適合機種)で一度ペアリングをお試しください。
バスキー(PIN)がわからない	本製品のバスキーは「0000 (ゼロを4つ)」です。
音が聞こえない	接続機器とペアリング及び接続ができていない可能性があります。ペアリング及び接続が正常に行われているか、確認してください。 3.5mmステレオミニプラグが抜けていないかを確認してください。
使用中に電源が切れる	電源プラグが緩んでいないか確認してください。
ペアリング成功後に電源を再投入すると自動接続されない	接続機器の機種やバージョンによっては自動認識されず、接続機器側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。
接続機器との接続(リンク)切断後、通信範囲内に戻っても自動接続されない	本製品をペアリング後、長期間使用していなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に接続機器の接続機器リストより本製品を選択し、手動で再接続してください(※ペアリングではありません)。
テレビの音声や音楽が聞こえない	接続機器側がSCMS-T対応かどうかご確認ください。接続機器が対応していない場合、テレビ(ワンセグ/フルセグ)放送は聞けません。 A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は接続機器の取扱説明書をご確認ください。
通話時に音が聞こえない	本製品は通話(ハンズフリー通話)非対応です。通話音は携帯電話機本体から鳴ります。
LINEや動画のサイトの音声聞こえない	接続機器で試聴可能なLINEや動画サイトの音声データは、APPやソフトウェアの仕様に依存するため、今まで使えたものがアップデートにより聞こえなくなったり、操作ができなくなる場合があります。

※接続する機器の取扱説明書も必ずご確認ください。